

- 問1 北アメリカ大陸南部に位置し、アメリカ合衆国やカナダとの間で、域内の関税を原則として撤廃することを目的とした北米自由貿易協定（NAFTA）を締結した国はどこですか。 （2019年 和歌山県公立入試 類似）
1. メキシコ 2. アルゼンチン 3. コロンビア 4. ブラジル
- 問2 世界の主要な国々の発電状況を比較した際、総発電量が提示された国々の中で最も多く、その内訳において火力発電が約60%、原子力発電が約19%を占めている国はどこか。 （2025年 青森県公立入試 類似）
1. アメリカ合衆国 2. ブラジル 3. フランス 4. ドイツ
- 問3 北アメリカ大陸の地形と自然災害について述べた文として、最も適当なものはどれですか。 （2022年 群馬県公立入試 類似）
1. 五大湖周辺はプレートの境界に位置しているため、世界で最も地震の発生密度が高い。 2. 西海岸沿いは環太平洋造山帯に含まれており、地震の発生や火山の噴火が起こりやすい。 3. 東海岸沿いは環太平洋造山帯に含まれており、険しい山脈が連なり火山活動が活発である。 4. 大陸全体が安定陸塊と呼ばれる古い地層でできているため、火山や地震の影響は全く受けない。
- 問4 2016年の貿易統計において、日本の最大の輸出相手国（輸出額の約20.2%）となっている国について述べたものとして正しい名称を選びなさい。なお、この国は輸出総額において中国に次ぐ規模を誇り、自国の最大の輸出相手国としては、陸上で国境を接するカナダ（約18.3%）を挙げています。 （2019年 岩手県公立入試 類似）
1. ドイツ 2. 大韓民国 3. アメリカ合衆国 4. オーストラリア
- 問5 アメリカ合衆国の農業就業者数は約241万人で穀物収穫量は約3億5693万トン、対する日本の農業就業者数は約125万人で穀物収穫量は約1173万トンという統計があります。このデータから算出される、農業就業者1人当たりの穀物収穫量の差と、その背景にあるアメリカの農業の特徴を組み合わせたものとして正しいものはどれですか。 （2021年 長野県公立入試 類似）
1. 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約140トン多く、広大な農地で大型機械を利用する大規模農業が展開されている。 2. 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約140トン多く、狭い土地に多くの肥料と労働力を投入する集約的な農業が展開されている。 3. 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約1400トン多く、バイオテクノロジーを用いた品種改良により生産性を高めている。 4. 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約170トン多く、適地適作の考えに基づき、特定の農産物を専門的に生産している。
- 問6 北アメリカ大陸の西側に位置し、大陸を南北に貫くように連なる標高が高く険しい褶曲山脈の名称を選びなさい。 （2017年 茨城県公立入試 類似）
1. アルプス山脈 2. アパラチア山脈 3. ロッキー山脈 4. アンデス山脈
- 問7 北アメリカ大陸を西から東へ横断する断面を考えた際、西端には標高3000mから4000m級の高く険しい山脈がそびえ、その東側には標高500mから1000m程度の平坦な大平原が続いています。この「険しい山脈」と、その東側に隣接する「大平原」の名称の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 （2025年 兵庫県公立入試 類似）
1. アパラチア山脈と中央平原 2. アンデス山脈とパンパ 3. ロッキー山脈とセルバ 4. ロッキー山脈とプレーリー
- 問8 アメリカ合衆国の北緯37度以南に広がり、先端技術産業の集中や人口の増加が著しい地域の名称として、最も適切なものを選びなさい。 （2015年 岐阜県公立入試 類似）
1. コーンベルト 2. ラストベルト 3. サンベルト 4. フィードロット
- 問9 世界の天然ガスの生産割合において、アメリカ合衆国が世界首位となる要因となった資源について、正しい名称を選びなさい。この資源は、テキサス州や北東部のアパラチア山脈周辺に広く分布する「頁岩（けつがん）」と呼ばれる固い岩石の層から採取されます。 （2022年 鳥取県公立入試 類似）
1. 液化天然ガス（LNG） 2. シェールガス 3. メタンハイドレート 4. オイルシェール
- 問10 北アメリカなどの大都市では、都市の中心部ではなく郊外に大型のショッピングセンターが多く建設される傾向があります。このような立地が見られる主な理由として最も適切なものを、次の中から選びなさい。 （2019年 佐賀県公立入試 類似）
1. 都市中心部における大規模な商業施設の建設が、法律によって全面的に禁止されているため 2. 郊外は公共交通機関が非常に発達しており、自動車を持たない層の集客が見込めるため 3. 都心部の地価が高いため、建物を高層化して土地を効率的に利用することが求められるため 4. 都市の中心部に比べて地価が安く、駐車場や店舗のための広大な土地を確保しやすいため
- 問11 アメリカ合衆国では、特定の言語を日常的に使用する人々の割合が増加しています。特にラテンアメリカからの移民とその子孫が多く住む地域において、英語とともに標識や案内、放送などで広く見られるようになった言語はどれですか。 （2025年 岩手県公立入試 類似）
1. ポルトガル語 2. スペイン語 3. フランス語 4. 中国語
- 問12 日本の自動車産業などがアメリカ合衆国に多数の拠点を置き、現地生産を拡大させてきた背景と目的に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 （2023年 兵庫県公立入試 類似）
1. 広大な農地を利用した原材料の確保を行い、農業分野での利益を最大化するため 2. アメリカ合衆国の安価な労働力を活用し、日本国内向けの製品を安く製造するため 3. 日本国内の資源が枯渇したため、鉱業などのエネルギー資源を現地で確保するため 4. 輸出の急増による日米間の貿易摩擦を解消し、現地での雇用を創出するため
- 問13 アメリカ合衆国の内陸部に広がる降水量の少ない地域において、地下水などをくみ上げて農地に人工的に水を供給し、大規模な小麦栽培などを可能にしている仕組みを何と呼びますか。 （2025年 沖縄県公立入試 類似）
1. 焼畑農業 2. ブランテーション 3. かんがい 4. 二毛作
- 問14 アメリカ合衆国において、国内で複数の標準時（タイムゾーン）が設定されている理由として、最も適切な説明はどれですか。 （2017年 鳥取県公立入試 類似）
1. 国土が東西に非常に広く、地域によって太陽が南中する時刻に大きな差があるため 2. 北緯40度付近を境にして、北側と南側で昼夜の長さの逆転現象が起こるため 3. 各州が強い自治権を持っており、州ごとに自由に標準時を決める権利があるため 4. 太平洋から大西洋まで複数の海域に面しており、海流の影響で気象条件が異なるため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 メキシコ	北アメリカ大陸の主要3か国であるアメリカ、カナダ、メキシコは、1994年に経済的な結びつきを強めるために北米自由貿易協定（NAFTA）を発効させました。これにより、関税の撤廃などが進み、広大な自由貿易圏が形成されました。現在はNAFTAに代わり、新協定であるUS MCAが発効しています。
問2	答え 1 アメリカ合衆国	アメリカ合衆国は経済規模が大きく総発電量が膨大であり、豊富な資源やシェールガスの開発などを背景に火力発電が約6割と主流を占めている。選択肢のフランスは原子力発電の割合が約7割と高く、ドイツは再生可能エネルギーの導入が進んでいる点、ブラジルは水力発電が主体である点で区別できる。
問3	答え 2 西海岸沿いは環太平洋造山帯に含まれており、地震の発生や火山の噴火が起こりやすい。	環太平洋造山帯は、太平洋を取り囲むように分布する新しい造山帯であり、地殻変動が激しいのが特徴です。北アメリカ大陸においては、西側の海岸沿いがこの造山帯に属しているため、古くから地震の被害や火山の噴火といった自然災害のリスクが高い地域として知られています。一方で、東海岸や五大湖周辺は比較的古い地質構造を持っており、西海岸に比べると地震の発生頻度は低くなります。
問4	答え 3 アメリカ合衆国	2016年時点の統計では、日本の最大の輸出相手国はアメリカ合衆国です。アメリカ合衆国は地理的に隣接し、北米自由貿易協定（NAFTA）などで経済的結びつきが強いカナダを最大の輸出相手国としています。輸出総額で見ると、世界1位は中国であり、アメリカ合衆国はそれに次ぐ世界有数の輸出大国としての地位を保っています。
問5	答え 1 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約140トン多く、広大な農地で大型機械を利用する大規模農業が展開されている。	アメリカ合衆国の1人当たり収穫量は約148トン（35693万÷241万）、日本は約9トン（1173万÷125万）となり、その差は約139トン（約140トン）に達します。アメリカでは広大な国土を活かし、農業就業者1人が担当する耕地面積が非常に大きい大規模農業が行われています。大型機械を導入して省力化を図っているため、労働者1人当たりの生産性が極めて高いのが特徴です。
問6	答え 3 ロッキー山脈	北アメリカ大陸の西部に位置する新期造山帯の山脈です。環太平洋造山帯の一部であり、プレート運動によって押し曲げられた地層が隆起して形成されました。同じ新期造山帯でも、南アメリカ大陸にあるものはアンデス山脈、ヨーロッパにあるものはアルプス山脈と呼ばれます。
問7	答え 4 ロッキー山脈とプレーリー	北アメリカ大陸の西部には、環太平洋造山帯に属する高く険しいロッキー山脈が南北に走っています。その東側に隣接する標高がやや高い大草原はプレーリーと呼ばれます。一方、大陸東部にあるアパラチア山脈はなだらかな古期造山帯の山脈であり、プレーリーのさらに東側（ミシシッピ川流域）にはより標高の低い中央平原が広がっています。アンデス山脈やパンパ、セルバは南アメリカ大陸の地形です。
問8	答え 3 サンベルト	アメリカ合衆国の南部に位置する北緯37度以南の地域は、一年を通じて日照時間が長く温暖であることから、太陽の光が降り注ぐ地帯という意味で「サンベルト」と呼ばれます。かつてのアメリカの工業を支えた五大湖周辺の既成工業地域に代わり、現代のアメリカ経済を牽引するハイテク産業の拠点となっています。
問9	答え 2 シェールガス	頁岩（シェール）という固い岩盤の層に閉じ込められていた天然ガスを指します。かつては採取が困難でしたが、掘削技術の進歩によって大量に生産できるようになりました。この変化は「シェール革命」と呼ばれ、アメリカ合衆国のエネルギー事情を大きく変えました。
問10	答え 4 都市の中心部に比べて地価が安く、駐車場や店舗のための広大な土地を確保しやすいため	北アメリカなどモータリゼーション（自動車の普及）が進んだ地域では、買い物客が自動車で来店することを前提としています。都市の中心部は地価が高く、広い敷地や大規模な駐車場を確保することが困難ですが、郊外は中心部に比べて地価が安いと、広大な土地を利用した平屋建ての大型店舗や巨大な駐車場の設置が可能になります。このような土地利用の特性が、郊外への施設立地を促しています。
問11	答え 2 スペイン語	ラテンアメリカ地域から移住してきたヒスパニックと呼ばれる人々は、主にスペイン語を話します。そのため、彼らが多く居住するアメリカ合衆国南部などの地域では、標識や案内、テレビ放送などでスペイン語が広く使われるようになっています。
問12	答え 4 輸出の急増による日米間の貿易摩擦を解消し、現地での雇用を創出するため	1980年代、日本からの自動車輸出が急増したことでアメリカ国内の産業が打撃を受け、深刻な貿易摩擦が起こりました。これを解決するため、日本企業は製品を輸出する形から、アメリカ現地に工場を建設して生産する「現地生産」へとシフトしました。これにより、貿易摩擦の緩和だけでなく、現地での雇用創出や地域経済への貢献も果たしており、現在も多くの日本人が現地で活動する背景となっています。
問13	答え 3 かんがい	アメリカ合衆国の西経100度付近より西側の地域は、年間降水量が500mmを下回るなど乾燥した環境にあります。そのため、「センターピボット」と呼ばれるスプリンクラーを用いた人工的な水供給（かんがい）を行うことで、本来は栽培が困難な地域でも小麦などの大規模な生産を実現しています。
問14	答え 1 国土が東西に非常に広く、地域によって太陽が南中する時刻に大きな差があるため	アメリカ合衆国やロシア、カナダのように東西に広大な国土を持つ国では、国内で共通の標準時を用いると、実際の太陽の動き（日の出や日の入り）と時計の時刻が大きくずれる地域が出てしまいます。そのため、国内をいくつかの時間帯に区切り、それぞれに異なる標準時子午線を設定することで、生活の実態に合わせた時間管理を行っています。